

# 第5期新冠町社会福祉協議会 地域福祉実践計画書

～ 誰もがつながり、共に支え合い、  
安心して暮らせる福祉のまち にかっぷ ～



平成31年3月

社会福祉法人 新冠町社会福祉協議会



## ☆ はじめに ☆

最初に、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

地域社会を取り巻く環境は、進展する少子高齢化や人口減少により様々な課題を抱えており、地域住民の結びつきが希薄化する中で、子育てや介護の悩み、医療や交通手段など日常生活への不安を抱える人々が増加しています。

多様化する地域の困りごとを地域住民が互いに支え合い助け合うことで、私たち社会福祉協議会の使命であります「誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができる」地域福祉社会を実現することができます。

これまで行政はもとより、ボランティアや福祉関係者など、福祉に理解を持たれる多くの団体、個人からのご支援で、本町の地域福祉を推進する中核的な立場で各種の福祉事業を推進してきたところです。

これからは更に社会の変化に応じた、数年先を見据えた取組みが必要なことから、当協議会では第4期計画の検証、評価結果に基づき、社会福祉法改正を始めとする国の福祉関係諸制度の動向を踏まえた上で、新冠町地域福祉計画との合同により、第5期地域福祉実践計画を策定いたしました。

福祉ニーズ把握のため行いましたアンケート調査では、多くの町民皆様からご回答とご意見をいただき、本計画策定にあたり重要な資料とさせていただきました。

本計画は新冠町と社会福祉協議会が連携して、長期的に同じ視点をもって地域福祉を推進するため策定されたもので、地域課題を共有しながら施策の展開に全力で取り組ましますので、今後ともより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に『誰もがつながり、共に支え合い、安心して暮らせる福祉のまち にかっぶ』を基本理念とする本計画の策定にあたり、熱心にご審議を賜りました策定委員の皆様、ご指導賜りました関係機関の皆様、ご意見をお寄せいただきました町民の皆様に、心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

平成31年3月

社会福祉法人 新冠町社会福祉協議会  
会長 鎌田 盛行

# 第一章 計画策定にあたって

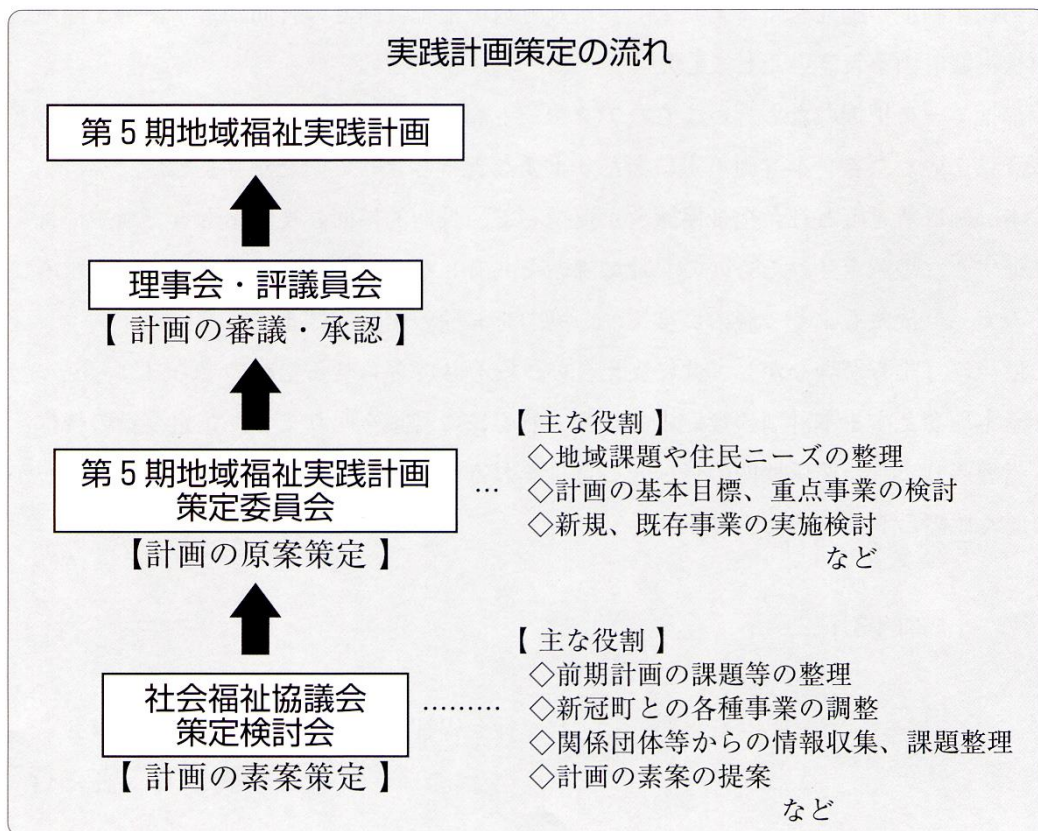
## 1. 地域福祉実践計画とは

新冠町社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、「地域福祉の推進を図ることを目的」に発足した団体であり、時代背景により変化する「地域課題」に合わせた事業を展開してきました。高齢者や障がいのある方、子どもも含めた全ての町民が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができることを目的とした第4期地域福祉実践計画に基づく社協活動に対し進行管理・評価委員会より評価を受けています。

第5期地域福祉実践計画は、第4期地域福祉実践計画を継続し、社協が様々な地域課題に対応するため、地域福祉を担う町民・ボランティア・福祉団体・行政などと連携・協働して具体的に実践していくための事業・運営方針を定める計画です。

## 2. 計画の策定体制

住民への調査や現状の分析等を踏まえ、関係各方面の方々の意見や意向を反映できるよう、新冠町との合同による計画策定委員会を設置し、さらに策定委員会における円滑な協議を行うため、社協職員による策定検討会を設置し、計画策定に向けて資料収集や意見調整を図ることとしています。



## 第二章 計画策定の基本的な考え方

地域福祉実践計画は、社協が地域住民や各関係機関、団体等と連携・協働して具体的に実践していくための行動計画と、社協の運営と経営の強化に取り組む発展強化計画の二つの要素から構成されています。

### 1. 計画の位置付け

#### (1) 計画の名称

第5期新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画

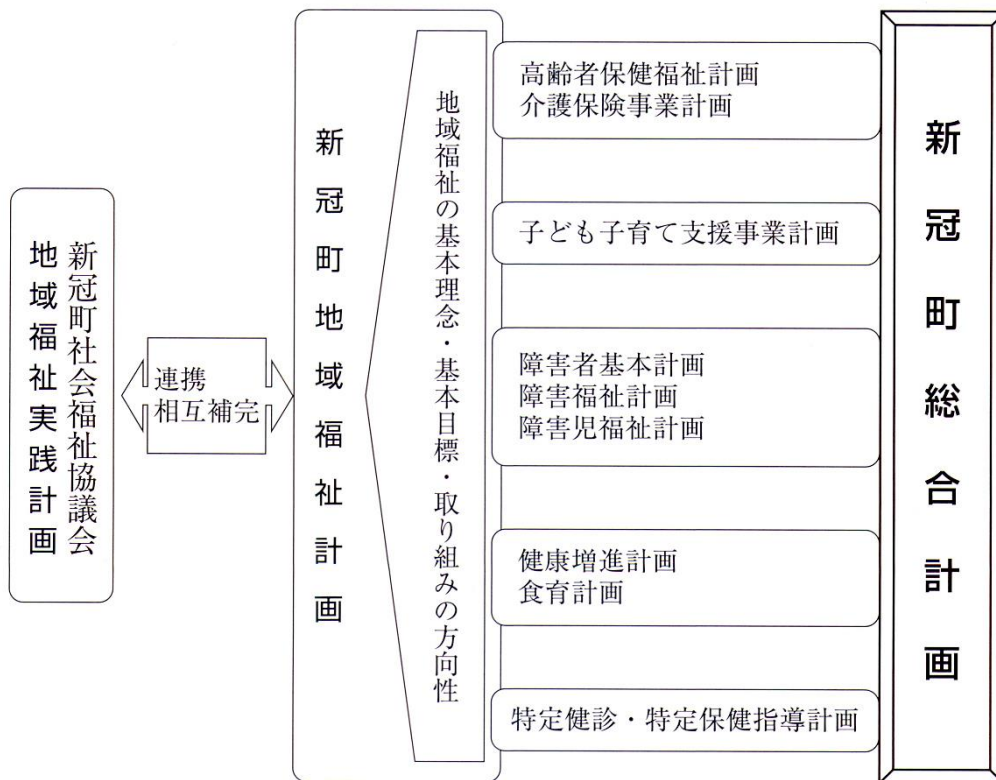
#### (2) 計画の期間

平成31年度から平成35年度までの5年間に行う計画として定めます。

ただし、計画期間の途中であっても、今後の社会情勢の変化や社会福祉の動向などに応じて、必要な見直しを図ります。

#### (3) 地域福祉計画との連携

本計画は、新冠町が策定した「第1期新冠町地域福祉計画」と整合性を図り、相互補完することにより両計画を一体的に推進していきます。



## 2. 計画の構成

### (1) 基本理念

『誰もがつながり、共に支え合い、安心して暮らせる福祉のまち にかっぷ』

本計画では、新冠町が策定する「第1期新冠町地域福祉計画」の基本理念を共有し、思いやりと笑顔にあふれた住みよい地域づくりを目指し取り組みを進めます。

### (2) 基本目標

基本理念を実現するために、4つの目標を掲げ計画を推進していきます。

#### 基本目標 1 みんなで参加する地域づくり

○誰もが気軽に参加できる地域活動・事業を支援し、みんなが集える交流の場を充実させます。

#### 基本目標 2 みんなで支え合う地域づくり

○住民同士の支え合いの関係づくりを促進し、地域力を高めるための事業や福祉サービス提供体制を充実します。

#### 基本目標 3 みんなと育てる地域の担い手

○地域において安心して暮らし続ける基盤づくり、仕組みづくりに必要な地域福祉の担い手づくりを支援します。

#### 基本目標 4 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

○町民から信頼され、地域福祉の推進役としての役割と機能を発揮できる組織づくりと安定した財源基盤の確立に取り組みます。



### 第三章 実践計画の体系

基本理念（共通理念）

誰もがつながり、共に支え合い、安心して暮らせる福祉のまち にいかっぷ

#### 第5期地域福祉実践計画

##### 基本目標 1

みんなが参加する地域づくり

##### 重点推進項目 1

地域住民の交流促進

##### 重点推進項目 2

コミュニティ活動の場の創出

##### 基本目標 2

みんなで支え合う地域づくり

##### 重点推進項目 1

地域の社会資源活動の推進

##### 重点推進項目 2

生活を支える福祉サービスの充実

##### 基本目標 3

みんなと育てる地域の担い手

##### 重点推進項目 1

ボランティア活動の普及促進

##### 重点推進項目 2

活動実践者のネットワークの形成

##### 基本目標 4

地域に信頼される社協運営のための組織づくり

##### 重点推進項目 1

社協組織の強化・充実

##### 重点推進項目 2

信頼される社協づくり

#### 第1期新冠町地域福祉計画

##### 基本目標 1

「ふれあい」と「つながり」の機会をつくります

具体的な取り組み

- 1) 地域共生社会の基盤づくり
- 2) 福祉の心を育む基盤づくり
- 3) 世代を超えた交流活動の場づくり
- 4) 地域における福祉活動への参加のきっかけづくり

##### 基本目標 2

「支え合い」の仕組みをつくります

具体的な取り組み

- 1) ボランティアを育成する仕組みづくり
- 2) 住民主体のサービスを育成する仕組みづくり
- 3) 高齢者や障がいのある人が活躍できる場づくり
- 4) 地域福祉推進団体を支える体制づくり
- 5) 必要な情報が伝わる仕組みづくり
- 6) 気軽に利用できる相談体制の仕組みづくり

##### 基本目標 3

「安心」して暮らせるまちをつくります

具体的な取り組み

- 1) 高齢者や障がいのある人を見守る体制づくり
- 2) 福祉人材を育成する体制づくり
- 3) 生活に困窮している人を見守る体制づくり
- 4) 災害時における支援体制づくり

## 第四章 基本目標と具体的な取り組み

### 基本目標 1

#### 「みんなが参加する地域づくり」

地域福祉を推進していくうえで、最も大切なのは一人ひとりをいたわり尊重することです。地域福祉を推進する人づくりの観点から、他人を思いやり、お互いを支え合おうとする意識の醸成を図る必要があります。

日常的に様々な福祉活動が行われていますが、その内容が町民に十分周知されていないか、見過ごされたり、受け止められなかったりということなどから、地域活動への参加意欲につながるほどの関心の高さには至っていないなどの課題があります。

これからの地域社会は「参加と協働」がより重要となり、お互いが支える住民同士のつながりが必要です。

家庭、地域、学校における福祉教育はもとより、世代に関係なく交流し、お互いを認め合い、支え合いの考え方を広めることに取り組んでいきます。

### 重点推進項目

#### 1. 地域住民の交流促進

実践項目 ◇地域の各種行事等への支援

- ・福祉活動推進支援事業（ふくしな活動助成事業）
- ・ひとり暮らしふれあい会食会、ふれあい年越会事業の実施
- ・敬老事業の支援

◇地域の見守り活動・相談活動の促進

- ・小地域ネットワーク活動の援護体制、援助活動への支援
- ・民生委員・児童委員との連携強化
- ・心配ごと相談所の開設と相談対応

◇公的制度の対象とならない住民への身近な助け合い（互助）の啓発

- ・在宅寝たきり者理容サービスの実施
- ・福祉機器用品の交付、貸出し
- ・新冠町高齢者等生活援助事業の推進

#### 2. コミュニティ活動の場の創出

実践項目 ◇地域住民同士が交流する場及び手段の確保

- ・福祉関係団体の活動・運営の支援
- ・社会参加活動（地域住民による交流活動）へ助成支援
- ・自治会連合会支援事業への協力

◇みんなが気軽に集える活動・事業等の検討

- ・自治会及び地域の福祉団体との協議の場づくり\*
- ・気軽に集える「場」の整備\*

◇福祉教育を推進し、福祉、介護、子育てに関わる活動の創出

- ・児童等への福祉教育の積極的な実践
- ・福祉講演会の開催
- ・地域の福祉活動への子供たちの介入促進\*



## 基本目標 2

### 「みんなで支え合う地域づくり」

高齢者や障がい者等が地域で安心して暮らしていくためには、公的な福祉サービスや専門的なサービスだけではなく、地域全体で支えていく仕組みづくりの取り組みが必要です。

自治会や地域の社会資源である団体は、地域の高齢者の見守り活動や交流事業などの様々な事業を実施し、地域住民同士のつながりを深める活動を展開しています。

また、高齢者などの生きがいづくりや閉じこもり予防、介護予防等の事業を通して、地域住民がお互いに支え合い、助け合う活動が求められています。

社協は、地域に根ざした地縁組織や各種福祉団体等と連携を図り、また側面的な支援を行いながら地域全体で支え合うまちづくりに取り組んでいきます。

## 重点推進項目

### 1. 地域の社会資源活動の推進

- 実践項目 ◇地域の地縁組織や社会資源等の既存活動の把握
- ・地域の行事や活動等の情報収集、整理\*
  - ・福祉団体の運営支援を通じた地域への情報提供
- ◇地域の困りごと、住民のニーズを収集、整理
- ・住民へのアンケート調査の実施
  - ・他の計画策定時の住民アンケート調査結果の反映
  - ・福祉、介護専門職員会議からの課題整理
- ◇既存や新たな地域福祉活動に対する情報提供・支援
- ・地域福祉活動の広報、周知\*
  - ・生活支援コーディネーターの参画\*
  - ・地域に必要な社会資源の構築\*

### 2. 生活を支える福祉サービスの充実

- 実践項目 ◇在宅生活に必要な福祉サービスの充実・推進
- ・居宅介護及び訪問介護事業の運営
  - ・居宅介護支援事業の運営
  - ・日常生活自立支援事業の推進
- ◇健康づくり活動の支援・推進
- ・介護予防・生活支援に関連する事業等の推進
  - ・行政の健康づくり活動への協力
  - ・福祉関連スポーツ大会の開催
- ◇福祉推進員の設置検討
- ・地域福祉のリーダー役の発掘
  - ・福祉推進員の活動支援\*
  - ・全町的な福祉推進員ネットワークの構築\*

### 基本目標 3

#### 「みんなと育てる地域の担い手」

多くの町民が福祉に関心を持ち、理解を深めることが地域福祉を継続的に推進する基盤となります。そのためには、地域住民の全てが地域福祉活動の担い手であるという認識を浸透させていくと共に、ボランティア活動や住民活動を担う人材の発掘、育成が必要です。

また、ボランティアに関する情報の収集と発信、各関係団体等との連携を強化し、やりがいのある活動の場の提供を進めていくことが重要です。

高齢者の活動の場の創出や社会参加活動を通じた介護予防の効果も期待できる事業、制度を創出し実施に向けて取り組んでいきます。

社協では、住民がボランティア活動に積極的に参加できるように支援活動を展開し、地域福祉の担い手として活動できる環境づくりに取り組みます。

### 重点推進項目

#### 1. ボランティア活動の普及促進

- 実践項目 ◇ボランティアの情報収集・発信
- ・ボランティア団体等の現状把握
  - ・ボランティア活動状況の周知
  - ・ボランティア活動に関する研修会等支援協力
- ◇各種ボランティア活動の検討
- ・ボランティア活動団体への助成、支援
  - ・ボランティア保険の加入促進
  - ・災害ボランティアセンターマニュアルの整備\*
- ◇有償ボランティア活動の検討
- ・有償ボランティアのニーズ把握
  - ・有償ボランティア制度の仕組みづくりの検討\*

#### 2. 活動実践者のネットワークの形成

- 実践項目 ◇地域、福祉関係団体、行政、社協等の連携体制の整備
- ・新冠町地域ケア会議との連携
  - ・民生委員・児童委員協議会との連携
  - ・地域包括支援ネットワークの機能強化
- ◇各種生活支援サービスのネットワークの確立
- ・法外援護資金、生活福祉資金の貸付
  - ・生活困窮者自立支援事業所との連携
  - ・関係機関の相談窓口との連携
- ◇ボランティア活動者及び団体への支援
- ・地域の支援者の養成、活動支援
  - ・住民交流活動や相談支援活動の創設\*
  - ・民間事業者の地域貢献活動への協力\*

## 基本目標 4

### 「地域に信頼される社協運営のための組織づくり」

社協はこれまで、地域の様々な課題に対し、民生委員児童委員、地域住民、ボランティア、福祉団体、行政などと連携・協働して地域福祉の推進を図ってきました。今後も社協の理事や監事の役員をはじめ、評議員などとともに地域福祉推進及び自主財源の確保など財政基盤の強化を図り、町内の福祉活動のさらなる発展のため、地域住民や各種団体の支援を行います。また、社協だよりや広報紙を通して、地域への情報を定期的に発信することにより、社協活動と地域福祉への理解と協力の意識啓発に取り組んでいきます。

また、職員の資質向上や組織内の連携強化により効果的な事業運営を図り、信頼される社協づくりに努めます。

## 重点推進項目

### 1. 社協組織の強化・充実

実践項目 ◇役職員の資質向上と運営体制の強化

- ・理事会等会務運営活動の活性化
- ・社協活動や研修会等への参加
- ・社協会員の弔慰事業の実施

◇地域福祉活動のための財源確保

- ・行政との協議による公費財源の考え方の整理
- ・介護保険事業の中長期的な経営方針の検討
- ・共同募金委員会との連携
- ・ファンドレイジングの検討\*

◇地域福祉実践計画の評価及び進行管理

- ・第5期地域福祉実践計画評価委員の選考・委嘱
- ・地域福祉実践計画評価委員会の開催
- ・行政計画（新冠町地域福祉計画）との連携

### 2. 信頼される社協づくり

実践項目 ◇情報提供の充実

- ・「社協だより」の発行
- ・社協ホームページの開設検討\*

◇苦情解決体制の整備

- ・全世代を対象とした相談援助、支援\*
- ・成年後見（法人後見）事業
- ・社協職員の相談スキルの向上

◇福祉団体等事務の運営支援

- ・各福祉団体事務局の受託
- ・新冠町遺族会事務局の運営
- ・新冠町共同募金委員会の運営

## 年次計画

基本目標	重点推進項目	実践項目・事業名	年次計画				
			31	32	33	34	35
1. みんなが 参加する 地域づく り	1) 地域住民の交流促進	◇地域の各種行事等への支援					
		・福祉活動推進支援事業 (ふくしな活動助成事業)	○	○	○	○	○
		・ひとり暮らしふれあい会食 会、ふれあい年越会事業の 実施	○	○	○	○	○
		・敬老事業の支援	○	○	○	○	○
		◇地域の見守り活動・相談活 動の促進					
		・小地域ネットワーク活動の 援護体制、援助活動への支 援	○	○	○	○	○
		・民生委員・児童委員との連 携強化	○	○	○	○	○
		・心配ごと相談所の開設と相 談対応	○	○	○	○	○
		◇公的制度の対象とならない 住民への身近な助け合い（ 互助）の啓発					
		・在宅寝たきり者理容サービ スの実施	○	○	○	○	○
	・福祉機器用品の交付、貸出 し	○	○	○	○	○	
	・新冠町高齢者等生活援助事 業	○	○	○	○	○	
	2) コミュニティ活動の 場の創出	◇地域住民同士が交流する場 及び手段の確保					
		・福祉関係団体の活動・運営 の支援	○	○	○	○	○
		・社会参加活動（地域住民に よる交流活動）への助成支 援	○	○	○	○	○
		・自治会連合会支援事業への 協力	○	○	○	○	○

基本目標	重点推進項目	実践項目・事業名	年次計画				
			31	32	33	34	35
1. みんなが 参加する 地域づく り	2) コミュニティ活動の 場の創出	◇みんなが気軽に集える活動 ・事業等の検討					
		・自治会及び地域の福祉団体 との協議の場づくり	検討	○	○	○	○
		・気軽に集える「場」の整備	検討	○	○	○	○
		◇福祉教育を推進し、福祉、 介護、子育てに関わる活動 の創出					
		・児童等への福祉教育の積極 的な実践	○	○	○	○	○
		・福祉講演会の開催	○	○	○	○	○
		・地域の福祉活動への子供た ちの介入促進	検討	○	○	○	○
2. みんな で支え合 う地域づ くり	1) 地域の社会資源活動 の推進	◇地域の地縁組織や社会資源 等の既存活動の把握					
		・地域の行事や活動等の情報 収集、整理	○	○	○	○	○
		・福祉団体の運営支援を通じ た地域への情報提供	○	○	○	○	○
		◇地域の困りごと、住民ニー ズを収集、整理					
		・住民へのアンケート調査の 実施					○
		・他の計画策定時の住民アン ケート調査結果の反映			○		○
		・福祉、介護専門職員会議か らの課題整理	○	○	○	○	○
		◇既存や新たな地域福祉活動 に対する情報提供・支援					
		・地域福祉活動の広報、周知	検討	○	○	○	○
		・生活支援コーディネーター の参画	○	○	○	○	○
・地域で必要な社会資源の構 築	検討	○	○	○	○		

基本目標	重点推進項目	実践項目・事業名	年次計画				
			31	32	33	34	35
2. みんなで 支え合う 地域づく り	2) 生活を支える福祉サ ービスの充実	◇在宅生活に必要な福祉サー ビスの充実・推進					
		・居宅介護及び訪問介護事業 の運営	○	○	○	○	○
		・居宅介護支援事業の運営	○	○	○	○	○
		・日常生活自立支援事業の推 進	○	○	○	○	○
		◇健康づくり活動の支援・推 進					
		・介護予防・生活支援に関連 する事業等の推進	○	○	○	○	○
		・行政の健康づくり活動への 協力	検討	○	○	○	○
		・福祉関連スポーツ大会の開催	○	○	○	○	○
		◇福祉推進員の設置検討					
		・地域福祉のリーダー役の発 掘	検討	○	○	○	○
		・福祉推進員の活動支援	検討	○	○	○	○
・全町的な福祉推進員ネット ワークの構築	検討	検討	○	○	○		
3. みんなと 育てる地 域の担い 手	1) ボランティア活動の 普及促進	◇ボランティアの情報収集・ 発信					
		・ボランティア団体等の現状 把握	○	○	○	○	○
		・ボランティア活動状況の周知	検討	○	○	○	○
		・ボランティア活動に関する 研修会等支援協力	検討	○	○	○	○
		◇各種ボランティア活動の検討					
		・ボランティア活動団体への 助成、支援	○	○	○	○	○
		・ボランティア保険の加入促進	○	○	○	○	○
		・災害ボランティアセンター マニュアルの整備	検討	○	○	○	○

基本目標	重点推進項目	実践項目・事業名	年次計画				
			31	32	33	34	35
3. みんなと育てる地域の担い手	1) ボランティア活動の普及促進	◇有償ボランティア活動の検討					
		・有償ボランティアのニーズ把握	検討	検討	○	○	○
		・有償ボランティア制度の仕組みづくりの検討	検討	検討	検討	○	○
	2) 活動実践者のネットワークの形成	◇地域、福祉関係団体、行政、社協等の連携体制の整備					
		・新冠町地域ケア会議との連携	検討	○	○	○	○
		・民生委員・児童委員協議会との連携	○	○	○	○	○
		・地域包括支援ネットワークの機能強化	検討	○	○	○	○
		◇各種生活支援サービスのネットワークの確立					
		・法外援護資金、生活福祉資金の貸付	○	○	○	○	○
		・生活困窮者自立支援事業所との連携	検討	○	○	○	○
		・関係機関の相談窓口との連携	検討	○	○	○	○
		◇ボランティア活動者及び団体への支援					
		・地域の支援者の養成、活動支援	検討	検討	○	○	○
		・住民交流活動や相談支援活動の創設	検討	○	○	○	○
・民間事業者の地域貢献活動への協力	検討	○	○	○	○		
4. 地域に信頼される社協運営のための組織づくり	1) 社協組織の強化・充実	◇役職員の資質向上と運営体制の強化					
		・理事会等会務運営活動の活性化	○	○	○	○	○
		・社協活動や研修会等への参加	○	○	○	○	○

基本目標	重点推進項目	実践項目・事業名	年次計画				
			31	32	33	34	35
4. 地域に信頼される社協運営のための組織づくり	1) 社協組織の強化・充実	・社協会員の弔慰事業の実施	○	○	○	○	○
		◇地域福祉活動のための財源確保					
		・行政との協議による公費財源の考え方の整理	検討	○	○	○	○
		・介護保険事業の中長期的な経営方針の検討	検討	検討	○	○	○
		・共同募金委員会との連携	○	○	○	○	○
		・ファンドレイジングの検討	検討	検討	検討	検討	○
		◇地域福祉実践計画の評価及び進行管理					
		・第5期地域福祉実践計画評価委員の選考・委嘱	○				検討
		・地域福祉実践計画評価委員会の開催		○	○	○	○
		・行政計画（新冠町地域福祉計画）との連携	検討	○	○	○	○
	2) 信頼される社協づくり	◇情報提供の充実					
		・「社協だより」の発行	○	○	○	○	○
		・社協ホームページの開設検討	検討	検討			
		◇苦情解決体制の整備					
		・全世代を対象とした相談援助・支援	検討	検討	○	○	○
		・成年後見（法人後見）事業	○	○	○	○	○
		・社協職員の相談スキルの向上	検討	検討	○	○	○
		◇福祉団体等事務の運営支援					
		・各福祉団体事務局の受託	○	○	○	○	○
		・新冠町遺族会事務局の受託	○	○	○	○	検討
・新冠町共同募金委員会の運営	○	○	○	○	○		



## ☆ む す び に ☆

新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画が策定されました。

この度の実践計画は、行政が策定する新冠町地域福祉計画との合同により策定されたもので、11名からなる策定委員会では、地域福祉実践計画及び地域福祉計画の策定にあたり、住民のニーズや地域福祉に対する理解、関心度、福祉観、参加意識等を把握することによって、きめ細かい実践計画が策定できるものと考え、10代から70代を超える幅広い世代を対象とし、住民アンケート調査を実施いたしました。

多くの町民のご協力により寄せられた回答や意見を取りまとめ、その調査結果をもとに課題の整理を行ったところであります。

さらに、現在実施している事業の展開を再確認しながら、新冠町の策定する地域福祉計画を参照し、実践計画の構成、体系図、基本計画書等をまとめました。

策定委員会議の開催は3回でしたが、アンケート調査からの声もいただいた策定内容と考えております。

基本理念は新冠町の基本理念と共有し「誰もがつながり、共に支え合い、安心して暮らせる福祉のまち にかっぷ」を掲げ、基本理念の実現を図るため4つの基本目標を定め、さらに重点的に取り組むべき項目を掲げました。

地域に住まわれる皆さんの協力を得て、共に助け合っていくことによって、住みよい福祉のまちが作られていくものと考えます。

今後5年間の実践に向けて、地域住民の皆様方からの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます、むすびの挨拶といたします。

平成31年3月

第5期新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画策定委員会

委員長 鬼海将芳